

平成30年8月27日

荒尾市企業管理者
田上 廣 秋 様

荒尾市上下水道事業運営審議会
会長 浦上 拓也



荒尾市水道ビジョンの策定について（答申）

平成29年9月1日付け荒企業第289号で諮問のあった荒尾市水道ビジョンの策定について、当審議会では計5回の会議を開催し、審議会委員、事務局との慎重な議論を行い一定の成果が整いましたので別紙のとおり答申します。

答 申

水道事業は、人口減少、及び節水意識の向上などの要因により給水収益が減少しており、更には、施設の老朽化による更新費用の増大といった経営に負の影響を及ぼす要因が山積しております。また、近年顕著化している自然災害への備えについても今後投資の必要性が問われてきております。

「普及・拡張の時代」から「維持・管理の時代」へ移行しても、水が当たり前に出てくるということを未来の世代にも繋げていく必要が私たちの世代の責任でもあります。この点を念頭に置き、審議会では『安全』『強靱』『持続』といった基本方針を掲げ、今後の取組みの方向性、施策、財政計画について議論を重ねてきました。基本理念につきましても『あらおの水 蛇口から出る安心を これからも』と、荒尾の水道を誰もが共感・共有できるよう、利用者へのメッセージという視点により決めました。

今般の地震等の不可抗力により老朽化した水道施設の事故は、荒尾市においても看過できず、施設の更新は喫緊の課題であります。世代間の公平な負担の観点より早急に着手するべきといった議論もありましたが、現在実施中であるアセットマネジメントの結果を受け、中長期にわたる計画的な更新計画を策定することが優先され、その後、投資の平準化を図りながら老朽化対策に取り組むことが望ましいとの結論に至りました。

水道料金についても財政予測の中で赤字転落が見えており、早急な料金改定を前提とした見直しに着手するべきといった答申をせざるを得ない状況ですが、この点についてもアセットマネジメントの結果を受け、投資のバランスを考慮し慎重に判断していくとの議論を行いました。この2つの施策に共通するアセットマネジメントの結果については、今回の水道ビジョンに反映されていない要素となることから、水道施設の再構築、水道料金のあり方について再度、審議会等で検討していくことが望ましいと考えます。

経営基盤の強化については、荒尾市水道事業包括委託といった全国の中小事業体のモデルとなりうる先進的な官民連携の姿が既に構築されており、官と民のノウハウを出し惜しむことなく融合させ、将来にわたり安定した安全な水の提供を続けていかれることを期待します。

荒尾市水道ビジョン策定に係る審議会開催実績

<p>第1回 日時：平成29年9月1日（金）13時30分～ 場所：ありあけ浄水場 会議室 審議内容：企業管理者より諮問・荒尾市水道事業の概要について</p>
<p>第2回 日時：平成29年11月1日（水）14時00分～ 場所：荒尾市役所 第31会議室 審議内容：現行の水道ビジョンの振り返りと今後の取り組みの方向性について</p>
<p>第3回 日時：平成30年2月2日（金）14時30分～ 場所：荒尾市役所 第31会議室 審議内容：新たな水道ビジョンの概要 —投資計画（今後の施策）について—</p>
<p>第4回 日時：平成30年3月2日（金）15時00分～ 場所：荒尾市役所 市長公室 審議内容：新たな水道ビジョンの概要 —財政計画について—</p>
<p>第5回 日時：平成30年6月1日（金）15時00分～ 場所：荒尾市役所 市長公室 審議内容：新たな水道ビジョン素案のパブリックコメント前の審議</p>
<p>答 申 日時：平成30年8月27日（月） 場所：荒尾市役所 市長公室 内容：企業管理者への答申</p>

荒尾市上下水道事業運営審議会委員名簿

番号	氏名	役職等
1	浦上 拓也(会長)	近畿大学 経営学部 教授
2	加藤 浩司(副会長)	有明工業高等専門学校 創造工学科 准教授
3	江崎 光恵	荒尾商工会議所 総務課長
4	深浦 淳美	女性ネットワーク荒尾 会長
5	田頭 スエカ	荒尾市食生活改善推進員協議会 会長
6	田中 一大	荒尾市地区協議会会長会 万田中央地区協議会会長
7	吉村 栄治※	荒尾市金融団 幹事 肥後銀行荒尾支店長
	本田 純也※	
8	西 秀雄	新日本有限責任監査法人 公認会計士
9	石川 陽一	荒尾市 総務部長

※ 吉村氏は第4回審議会まで、本田氏は第5回審議会より在任